

# 安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

## 安全・適正就業強化月間

- ◎ 国が実施する「全国安全週間」に合わせ、7月は「安全・適正就業強化月間」の月です。  
職員会員の皆さんで組織をあげて、事故の撲滅を図り「安心・安全」のシルバー事業の発展を図りましょう。
- ◎ 安全・適正就業強化月間  
平成30年7月1日から平成30年7月31日までとする。
- ◎ 全国統一スローガン  
「事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな」  
(平成31年度までの全国共通スローガン)
- ◎ 主な取り組み  
[シルバー人材センターで取り組む事項]
  - 1 安全・適正就業委員会の開催、「安全・適正就業対策基本計画」の策定及び事故の要因分析と具体的な防止策の徹底
  - 2 重篤事故につながる就業の見直し
    - ① 危険・有害な作業は受託しないこと
    - ② 作業別安全・適正就業基準に掲げる安全保護具の完全着用の徹底を図ること  
なお、安全帽・安全帯等の安全保護具を未着装のもとで就業した場合、申し合わせによって事故の有無に拘わらず就業者には就業停止等の措置を講じるなど安全就業の徹底を図ること
    - ③ 健康チェックや健康講話等の実施、健康診断の積極的な奨励などの健康増進策を図ること
  - 3 ヒヤリ・ハット体験事例を収集し、要因を分析した対策を講じた事故の防止の徹底
  - 4 損害賠償責任保険事故の防止

- 5 就業途上における交通事故の防止
  - ① 交通安全に関する講習会の実施及び交通安全対策の徹底
  - ② 事故多発エリアのロードマップ等の作成
  - ③ 徒歩、自転車及びバイクでの事故の防止の徹底
- 6 安全就業対策の総点検の実施
  - ① 就業前、就業後の安全意識等の徹底
  - ② 機械器具の点検と整備の徹底
  - ③ 安全保護具の点検と整備の徹底
  - ④ 巡回パトロールの重点実施
  - ⑤ 就業現場の総点検
  - ⑥ 交通安全対策の徹底
- 7 安全就業の研修及び点検  
安全就業に係る事例発表を含む研修会、講習会等の実施
- 8 適正就業ガイドラインに沿った業務運営の実施
  - ① 適正就業ガイドラインを活用した研修・周知（平成28年9月13日付28全シ協発第125号）
  - ② 受注実績一覧表による受注内容・就業実態の点検等適正就業に向けた改善（連合本部と連携）
  - ③ 契約書等の適正な締結（例 請負契約に沿った適正な用語の使用、警備業務等の業務と解される用語の禁止、総額表示の使用、仕事内容の具体的記載等）
  - ④ 会員と発注者の間に指揮命令関係が生じる請負契約又は委任契約について、派遣契約への切り替え若しくは職業紹介の実施による雇用
- 9 会員からの安全標語の募集、シルバー人材センター・施設・就業現場等への安全標語、垂れ幕、ノボリ等の掲示などによる会員すべての安全意識の徹底
- 10 会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載
- 11 会員に対して安全意識啓発及び情報の共有化を図るための資料等の配布など
- 12 月間中における「安全意識高揚の日」の設定及び安全表彰の実施

[シルバー人材センター連合本部で取り組む事項]

- 1 シルバー人材センターに対する安全就業対策等の指導・助言
- 2 安全大会の実施及び安全表彰の実施
- 3 安全・適正就業に関する研修会、講習会等の実施
- 4 巡回パトロールの実施
- 5 シルバー人材センターの月間行事の実施についての指導・援助

◎ 強化月間における実施と併せて年間計画を策定し、効果的に取り組みましょう

平成30年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター表彰団体が決定しました

平成30年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター表彰団体は、5月16日開催の安全就業優秀・優良シルバー人材センター等選定委員会において下表のとおり決定しましたので、お知らせいたします。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

なお、優秀賞、優良賞は、中野サンプラザにおいて、6月21日開催の平成30年度全シ協定時総会で表彰いたしました。

なお、優秀連合賞及び優良連合賞については、該当する団体はありませんでした。

(優秀賞)		
ブロック名	都道府県名	団体名
関東	千葉県	公益社団法人東金市シルバー人材センター
北信越	長野県	公益社団法人小諸北佐久シルバー人材センター
		(優秀賞 計 2 団体)
(優良賞)		
関東	千葉県	公益社団法人酒々井町シルバー人材センター
北信越	富山県	公益社団法人魚津市シルバー人材センター
北信越	長野県	公益社団法人諏訪市シルバー人材センター
北信越	長野県	公益社団法人佐久シルバー人材センター
近畿	京都府	公益社団法人京丹后市シルバー人材センター
近畿	大阪府	公益社団法人茨木市シルバー人材センター
九州	福岡県	公益社団法人筑紫野市シルバー人材センター
		(優良賞 計 7 団体)
		計 9 団体



# 安全リレー

## 鹿児島県における安全・適正就業の取組み

公益社団法人鹿児島県シルバー人材センター連合会の概要（平成30年3月31日現在）

- ・センター数 35 団体（国庫補助団体 29 団体、補助対象外 6 団体）
- ・会員数 11,934 人（内派遣登録会員 4,071 人）
- ・受注件数 81,035 件（請負・委任 79,909 件、派遣 1,126 件）
- ・契約金額 5,429,407 千円（請負・委任 4,420,924 千円、派遣 1,008,483 千円）
- ・就業実人員 12,163 人（請負・委任 9,334 人、派遣 2,829 人）
- ・就業率 78.2%（請負・委任）、派遣 69.5%

### 1. 過去4年間の事故発生状況

\* 事故発生件数（受託事業（傷害＋損害）＋派遣）

	26年度	27年度	28年度	29年度
就業延人員（人日）	950,571	973,282	1,051,222	1,093,959
事故発生件数	163	143	171	183
事故者率（鹿児島県）	0.000171	0.000147	0.000163	0.000167

※平成29年度は、蜂による刺されが30件の報告があり、注意喚起を実施した。

### 2. 平成29年度事故発生状況

\* 事故型別

事故型件数		
1	物損事故	45
2	虫さされ	33
3	切れ（傷害）	22
4	転落事故	24
5	転倒事故	23
6	交通事故	12
7	無理な動作	10
8	飛来事故	3
9	激突され	2
10	挟まれ	3
11	激突	3
12	踏み抜き	3
合 計		183

\* 作業別事故件数

作業名	件数
刈払作業	64
剪定作業	39
伐採作業	8
屋内外作業	32
除草作業	10
農作業	6
途上事故	12
その他	12
合 計	183

鹿児島県における過去4年間に発生した事故は、平成27年度減少傾向にあったが、28年度再び派遣事業における事故が実績とともに増加に転じ、連合会安全・適正就業推進委員会において、「安全就業の徹底」について協議し、決定事項を拠点センターへ遵守するよう指導。

### 3. 連合会の安全・適正就業への取組み

#### (1) 安全・適正就業推進委員会の開催

連合会では、毎年安全・適正就業強化月間の前、6月に県内6センター事務局長と連合会理事1名、連合会（事務局長、業務担当者）で安全・適正就業推進委員会を構成し、県内センターの安全・適正就業に関する事項を検討し、その対策を総合的に推進するため、29年度は平成29年6月6日に開催し、安全・適正就業強化月間の取組み、安全就業優良シルバー人材センターの選定、安全就業標語の選定、その他事故分析と解決策の策定、さらに交通法令の遵守の徹底などを協議し、事故防止に努めました。

#### (2) 安全大会、安全就業担当理事及び安全就業推進員等研修会の開催

##### ◆平成29年度安全就業優良シルバー人材センター表彰

安全・安心に就業できる環境づくりを目指していくために、事故の発生防止等安全就業に積極的に取り組んでいる2つのシルバー人材センターが表彰されました。

- 公益社団法人出水市シルバー人材センター
- 公益社団法人大崎町シルバー人材センター



##### ◆平成29年度安全就業標語の表彰

安全就業の啓発を目的に、毎年県内シルバー人材センター会員及び職員から457点の安全就業標語の応募があり、最優秀作品1点と優秀賞2点安全大会で表彰されました。



##### ※最優秀作品

「忘れるな ヒヤリ!ハット!の あの瞬間」

公益社団法人南大隅町シルバー人材センター  
会員 野村 勉 様

## ※優秀作品

「焦らず無理せず油断せず

皆で続ける ゼロ災害」

公益社団法人伊佐市シルバー人材センター

会 員 別 府 晋 一 様

「慣れた作業 ゆるむ心に ひそむ事故」

公益社団法人出水市シルバー人材センター

会 員 中 村 保 様

### ◆体験発表

安全大会において、優良シルバー人材センターとして表彰された公益社団法人出水市シルバー人材センターから「安全就業に対する取り組み」のタイトルで会員の意識を変えるための取組みを紹介されました。

- ① 安全適正就業対策推進委員会による「緊急事態宣言」による「事故再発防止及び就業不適格会員に対する取扱い要領」の制定につながり、平成27年度4月から施行。
- ② 事故発生の場合の対応
- ③ 日ごろの安全指導等



### ◆講演、研修会の開催

講演、研修会では、鹿児島県警察本部交通部交通企画課による「高齢者の交通事故抑止について」高齢者の交通事故状況や高齢者の特性を踏まえた交通安全指導のポイントなどの講演がありました。

### (3) 安全・適正就業パトロールと安全委員会での指導・助言について

鹿児島県では、事業計画の中で拠点センター安全委員会でのパトロール実施に同行し、発注者の意見などを聞き、就業会員に対し指導助言したり、派遣会員向けに研修会を開催し、服務規則、安全就業、健康管理面について教育訓練を実施しております。



★派遣会員向け教育訓練風景★

シルバー人材センター事業において、安全就業は「全てに優先する」基本的問題であり、組織をあげて安全・適正就業の普及啓発に取り組んでいきます。

鹿児島県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。  
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

## 暑さに強いカラダで熱中症を防ぎましょう！

今の時期は、梅雨の季節ですが、夏日となる日もあり、会員さんの就業時などの暑さ対策を万全にする必要があります。今月号は、熱中症について特集しました。

### 熱中症とは

熱中症は、体内の水分や塩分のバランスが崩れることで生じ、重症化すると死に至るたいへん怖い疾病です。

特に熱中症による死亡者は、暑さに慣れていない作業の初日、2日目に多く発生しています。

しかし、暑さに体を慣らすことによって、熱中症を発症しにくくすることができ、これを「暑熱順化」と言います。

最近では、クーラーの効いた部屋にいることが多く、暑さに体が慣れる機会が減っています。

暑くなる前から意識して汗をかくようにして、暑い季節を安全・健康に乗り切りましょう。

### 熱中症はいつ起きるの？

#### ○7月、8月に集中

7月、8月に発生が集中し、6月、9月も危険です。

#### ○14時以降の時間帯は要注意

11時台および14～16時台に多く発生します。作業終了後に帰宅してから体調が悪化するケースもあります。

#### ○暑くなり始めは要注意

暑さに体が慣れていないと、汗を上手にかいて体の表面を冷やすことができません。暑さ初日には注意しましょう。

(中央労働災害防止協会 「安全衛生かべしんぶん」 「安全と健康」より引用)

# 平成 30 年度 5 月 事故速報

## 重 篤 事 故

5 月は、2 件の重篤事故報告があり、2 件とも就業中の事故であった。

5 月までの累計で比較してみると、平成 29 年度の 12 件に比して平成 30 年度は 7 件と 5 件減少している。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では平成 29 年度の 8 件に比して 4 件と 4 件の減少となっており、また就業途上においては、平成 29 年度の 4 件に比して 3 件と 1 件減少する結果となった。

### 5 月報告分までの累計

平成 30 年度 5 月 累 計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成 29 年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	4 (2)	3 (1)	1 (1)	3 (2)	1 (0)	就業中	8	4	4	8	0	
就業途上	3 (0)	3 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	就業途上	4	2	2	2	2	
計	7 (2)	6 (1)	1 (1)	6 (2)	1 (0)	計	12	6	6	10	2	

↳ 対前年度比 58.3%

※ ( ) 内は 5 月報告分

### 5 月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
6	男 66 歳	就業中 (死亡)	会議室貸出し業務を 1 名で行なっていたが、具合が悪くなり、本人が家族に電話し、家族が駆けつけて病院に救急搬送されたが、後日死亡した。診断の結果は脳梗塞であった。	—	—	—
7	男 70 歳	就業中 (入院)	法面の草刈作業中、昼休憩の時間になったので、安全帽を脱いで歩いていたところ、草のつるに足が引っかかり、約 2 m の高さからコンクリートの地面に転落し、頸椎損傷で入院し、6 ヶ月経過した。	×	—	—

## 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

5月は、就業中の事故16件、就業途上の事故5件と、合計21件であり、昨年度同月の23件と比して2件の減少となっている。また、男女別では、男性は6件の減少となっているのに対して、女性は4件の増加となっている。

5月までの累計で比較してみると、昨年度の42件に比して、本年度は45件と3件の増加となっている。就業中・就業途上別にみると、就業中は10件の増加となっているのに対して、就業途上は7件の減少となっている。男女別では、男性は1件の減少となっているのに対して、女性は4件の増加となっている。

### 平成30年度5月分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		5月	累計	5月	累計	5月	累計	5月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	6(7)	16(14)	5(6)	15(13)	1(1)	1(1)	75	74
	除草作業	2(2)	4(2)	0(1)	1(1)	2(1)	3(1)	70	80
	屋内・屋外清掃作業	1(2)	4(6)	1(1)	3(2)	0(1)	1(4)	74	73
	その他	7(3)	12(4)	4(3)	6(3)	3(0)	6(1)	78	77
	計	16(14)	36(26)	10(11)	25(19)	6(3)	11(7)	75	75
就業途上	徒歩	1(2)	2(4)	0(2)	0(3)	1(0)	2(1)	75	73
	自転車	3(4)	5(7)	1(3)	1(4)	2(1)	4(3)	74	71
	バイク	1(3)	1(5)	0(1)	0(2)	1(2)	1(3)	75	75
	自動車	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	—	76
	計	5(9)	9(16)	1(6)	2(9)	4(3)	7(7)	75	72
合計		21(23)	45(42)	11(17)	27(28)	10(6)	18(14)	74	75

( )は平成29年度同月、累計では同月までの発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います。

(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)

## 編集後記

紫陽花の美しい季節となりました。今年は例年より早く梅雨入りしたところが多いようです。また、6月は総会の時期にも当たります。全シ協では毎年総会に合わせ、無事故で安全に関する各種取り組みを積極的に行っているセンターの表彰をしています。今年度は例年より少ない優秀賞2センター、優良賞7センターの計9センターが受賞されることとなりました。受賞されたセンターのみなさま、おめでとうございます。これも日頃からセンターが中心となり、会員のみなさま一人ひとりが安全就業に対して、積極的に取り組んでいただいた賜物だと思います。受賞を励みにこれからも常に安全を意識し、無事故が継続することを願っています。(松山)

安全就業とは関係ない話で恐縮ですが、近年、私が利用している駅周辺のスーパーやコンビニで、世界の各地から来た外国人労働者の方を見かける機会が多くなりました。接客業については、海外から来た外国人労働者の方がいなければ、成り立たないことを実感する今日この頃です。

また、民泊新法が6月15日から施行されたことにより、今後、インバウンド需要(来日外国人観光客)のさらなる拡大も見込まれています。

今後、ますます海外から多くの方が訪れてくることが予想される中で、シルバー人材センターも来日された海外の方々との交流機会を設けることによって、親善関係構築に役立ってほしいと思います。(笹野)

## 事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな

### <頒布物のご案内> 新規会員さんへの研修に活用ください!

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。

#### 事故に学ぶ交通安全のポイント「改訂版」

交通事故の死亡者は年々減少傾向にある中、65歳以上の高齢者が占める割合は年々高くなっています。シルバー人材センター会員の皆様においても就業途上において歩行中・自転車乗車中の事故が多く発生しています。このため、事故に注意していただき、安全な就業をしていただくため改訂版を発行しました。是非、会員の皆様に対する研修会・講習会等のテキストとして活用ください。



頒布価格 216 円 A4 判  
(税込・送料実費)

#### 【改訂の内容】

- 1 現行のB5版/16頁からA4版/20頁とし、見やすく、分かりやすく、内容の充実を図りました。
- 2 警察庁交通局の「平成27年中の交通事故の発生状況」から、特に、高齢者の事故が多い内容や原因について注意喚起を行う事項を追加しました。
- 3 シルバー人材センターで発生した「就業途上に起きた交通事故」の状況や事故件数及びこれに伴う再発防止のポイントを「イラスト、事例」により掲載しました。  
また、ヒヤリ・ハットの事例についても、「イラスト、事例」により掲載しています。
- 4 自転車の危険運転について、道路交通法の改正が行われ、この改正内容等について、「イラスト」等により解説を行い、追加しました。

【お問い合わせ先 全シ協企画情報課 TEL 03-5665-8013】